

## 後発（ジェネリック）医薬品差額通知事業関係資料

奈良県後期高齢者医療 全体の利用率（数量シェア：※新指標）

※ 〔後発医薬品の数量〕 / （〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕 + 〔後発医薬品の数量〕）で算出

国保連提供資料：数量＝使用量×回数

（使用量は、例えば0.5錠や、アンプルから必要量だけ使用する等、1より少量で使用する場合がありますため小数点以下の値になることがある。）

平成28年度		4月診療分 H28.6.30通知	7月診療分	10月診療分 H28.12.28通知	1月診療分	
奈良県後期高齢者 医療広域連合 (全体)	後発医薬品のある 先発医薬品	15,517,807.1	14,875,105.6	14,687,272.6	13,658,450.1	
	後発医薬品	20,877,786.1	20,628,386.9	21,088,157.4	20,441,524.5	
	利用率	57.4%	58.1%	58.9%	59.9%	
再掲	医科	後発医薬品のある 先発医薬品	6,810,320.7	6,482,735.1	6,440,624.0	5,897,241.7
		後発医薬品	6,331,339.4	6,294,201.8	6,457,922.5	6,104,470.2
		利用率	48.2%	49.3%	50.1%	50.9%
	調剤	後発医薬品のある 先発医薬品	8,707,486.4	8,392,370.5	8,246,648.6	7,761,208.3
		後発医薬品	14,546,446.7	14,334,195.1	14,630,234.9	14,337,054.3
		利用率	62.6%	63.1%	64.0%	64.9%
(参考) 「最近の調剤費の動向」 厚労省HP:調剤メディアス	全国 (全保険者)	64.8%	65.8%	66.9%	68.4%	
	奈良県 (全保険者)	65.3%	65.5%	66.4%	67.6%	

(注) 厚労省資料は、保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

## 差額通知効果資料

診療月 (通知年月)	通知数	後発（ジェネリック）医薬品に切替えた人数			
		送付後1か月	送付後2か月	送付後3か月	累計
H28年10月 (H28年12月) 一薬剤あたり差額300円以上	3,132通	38人	86人	80人	204人
	切替率	1.21%	2.75%	2.55%	6.51%
H29年4月 (H29年6月) 一薬剤あたり差額200円以上	6,839通	89人	210人	229人	528人
	切替率	1.30%	3.07%	3.35%	7.72%